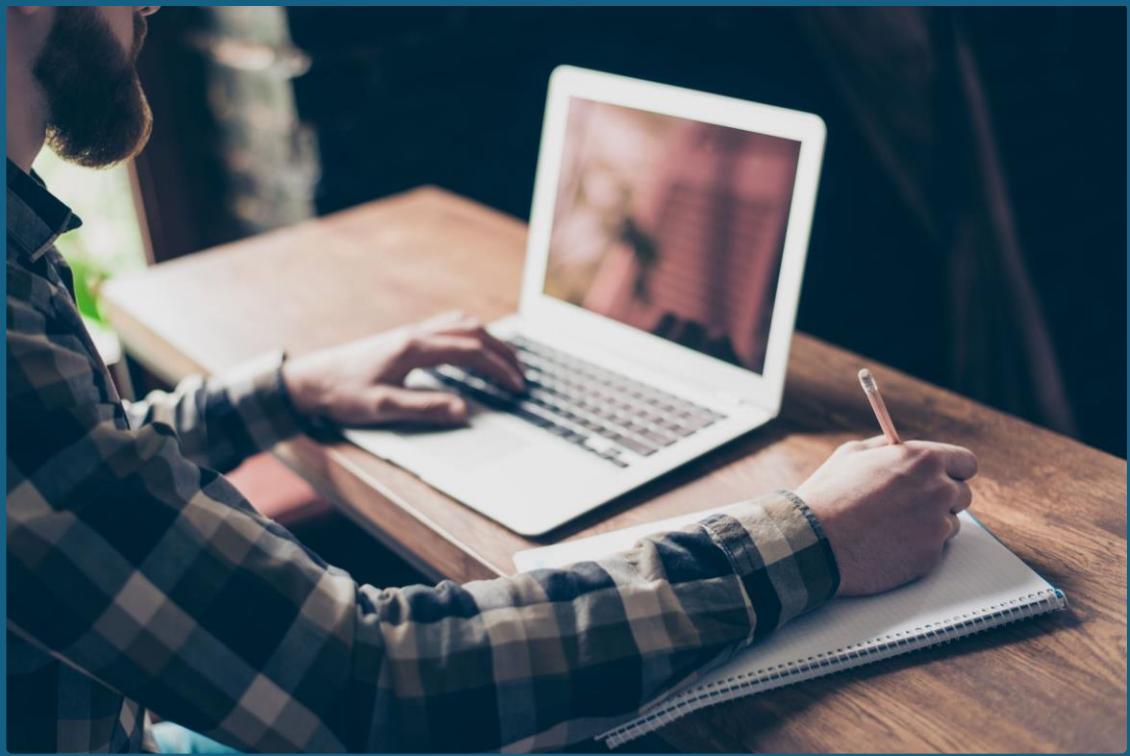


3 ICT 機器を利活用した実践を支える 便利なツール

(1) 自立活動フローシート

(2) 授業での ICT 機器利活用チェックリスト

(3) アプリ・機器等 コンテンツ紹介



(1) 自立活動フローシート

当センター特別支援教育部が実施した、平成30年度から令和元年度の研究「見てわかる！『個別の指導計画』作成に役立つシート」における「自立活動フローシート」をご紹介します。本フローシートは、自立活動の指導指標などを基に指導計画を検討することができ、個別の指導計画作成の手助けとなります。

「自立活動って何だろう?」「自立活動について学び直したい!」「自立活動をきちんと意識した指導計画を作成したい!」という方におすすめのツールとなっています。まずは、リンクをクリックして、ご確認ください。

[リンク先：県総合教育センター特別支援教育部「自立活動フローシート」](#)

自立活動フローシート

学部・学年	氏名					
実態把握	障害の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよさについて情報収集 ○○ ○○					
	収集した情報を自立活動の区分に即して整理					
	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	生活のリズムは安定している。 野菜が苦手であまり食べることができない。	自分の好きな活動ができると、怒ったり泣いたりしてアピールすることができる。	色々な教師と関わることができる。 友達と協力して活動することができる。		動作の模倣をすることができる。 運動やダンスが好きで、自分から進んで行うことができる。 発音が不明瞭で、他に自分の気持ちが伝わりにくい。	発声や指さしなどで自分の意思を伝えることができる。 言葉だけでの指差しを理解することができる。 発音が不明瞭で、他に自分の気持ちが伝わりにくい。
	いくつかの指導目標の中で優先する目標として					
	3年後にめざす姿 <input type="checkbox"/> 自分の思い通りにならなくても、我慢することができる。 <input type="checkbox"/> 発声やサインなどのコミュニケーション手段を獲得し、相手に気持ちや考えを伝えることができる。					
	いくつかの指導目標の中で優先する目標					
	3年後にめざす姿 <input type="checkbox"/> 自分のやりたいことを発声やサインで相手に伝えることができる。					
	指導目標を達成するために必要な項目の選定					
	長期目標(年間)	※指導すべき課題が、それぞれどのような状態の理解と対応 ※状況の理解と変化への対応 ※他者の意図や感情の理解 ※発声やサインなどのコミュニケーション手段の活用				
選定	①生活のリズムや生活習慣の形成 ②病気の状態の理解と生活管理	①情緒の安定 ②状況の理解と変化への対応	①他者とのかかわりの基礎 ②他者の意図や感情の理解	①保有する感覚の活用 ②感覚や認知の特性についての理解と対応	①姿勢と運動・動作の基本的技能 ②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	①コミュニケーションの基礎的能力 ②言語の受容と表出

作業用紙は印刷されません。

見てわかる！『個別の指導計画』作成に役立つシート 研究協力校による学校実践事例集

学校実践事例集 目次	(1) ケース1 視覚障害1	(2) ケース2 視覚障害2	(3) ケース3 聴覚障害1
(4) ケース4 聴覚障害2	(5) ケース5 病弱1	(6) ケース6 病弱2	(7) ケース7 病弱3
(8) ケース8 肢体不自由1	(9) ケース9 肢体不自由2	(10) ケース10 知的障害1	(11) ケース11 知的障害2

*クリックするとリンク先へ移動します

(2) 授業での ICT 機器利活用チェックリスト

時	項目	内容	✓
事前	1 機器・環境の確認	端末の電源が入るか確認	
		バッテリー残量を確認／充電済み	
		Wi-Fi 接続が安定しているか確認	
		アプリやソフト、周辺機器等の接続・動作確認	
		機器の設置と安全確認(コード位置、転倒防止)	
	2 教材・データの準備	教材データ(画像・動画・音声)を準備	
		教材が個別ニーズに合っているか確認(形式・難易度・操作性)	
		誤操作によるデータ消失への備え(自動保存、クラウド保存)	
	3 学習者対応の準備	学習者端末の設定(音量、画面表示、支援機能)確認	
		支援が必要な学習者の個別対応準備(補助・代替手段)	
		個々の特性に応じた支援機能(音声読み上げ、拡大表示等)設定	
		感覚過敏への配慮(音量・画面の明るさ等)	
	4 運用・安全管理	ログイン情報(ID・パスワード)確認・配付	
		個人情報を含む教材・資料の取り扱い注意	
		パスワード管理方法を学習者・保護者と共有	
		持ち帰り端末の管理ルール確認・周知	
	5 授業設計	ICT 機器の利活用の目的を明確化(何を学ぶか)	
		ICT 機器の利活用・非利活用の活動のバランスを考慮	
		提出方法・期限を明示(口頭+画面提示)	
		トラブル時の代替教材(紙、ホワイトボード、予備機器等)準備	
事中	1 機器操作・支援	学習者への ICT 機器の使い方説明(視覚的手順提示)	
		ICT 機器を活用した教材提示(視覚・聴覚支援を意識)	
		学習者の操作支援(必要に応じて個別サポート)	
		機器の不具合や、学習者の困りごとに即時対応	
2 学習活動の記録	写真・動画・音声で学習活動を記録		
事後	1 機器・環境の片付け	機器の電源を切る・ケーブル整理	
		機器を所定の場所に戻す(安全に保管)*必要に応じて充電	
		教室の環境を元に戻す(机配置・掲示物)	
	2 データ・情報管理	使用した教材や記録データの整理・保存	
		使用履歴確認(ログアウト・データ削除)	
		個人情報削除(必要に応じて)	
	3 振り返り・改善	学習の振り返りに ICT 活用(録画再生・作品共有)	
		授業での ICT 活用の成果や課題を記録	
		次回授業への改善点を整理(学習者の反応を踏まえて)	

(3) アプリ・機器等 コンテンツ紹介






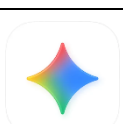
アイコン	アプリ名	概要	指	ア
	筆順	筆順をアニメーションで確認することができます。全漢字でなぞり練習ができ、視覚的に理解しやすいため、書字が苦手な児童への個別支援に役立ちます。		1 20
	Sullivan+	カメラ映像から文字・顔・物体・色などを AI が読み取り、音声で説明する視覚支援アプリです。教材準備時の文字読み上げや金銭学習での紙幣認識など、弱視・全盲の学習者の自立活動で実践的に活用できます。		2
	Beads Creator	写真を読み込んで簡単にアイロンビーズ図案を作成でき、使用色と数量の一覧も自動表示されるアプリです。作業学習や微細運動トレーニングで、個別の好みに合わせた図案づくりに活用することができます。		4
	DropTap	2000 語以上のシンボルと音声で意思表示を支援する AAC*アプリです。ボード作成や共有が簡単で、授業の選択活動や朝の会、生活単元学習での意思表示のための支援に活用できます。		6
	Goodnotes6	PDF への書き込みや手書きメモを簡単に管理できるデジタルノートアプリです。ワークシートへの加筆、授業記録など実務に活用しやすく、複数端末からアクセスできる点も便利です。		7
	すくすくプラス	ひらがな・数字・推理などを音声つきで学べる無料知育アプリです。難易度調整やプレイ時間の管理機能があり、個別学習や自立活動の基礎づくりに活用することができます。		8
	あそんでまなぶ! for スクール	計算・記憶・文字認識など 9 領域・50 超の学習を遊びながら行える知育アプリです。成績が自動記録され、個別の理解度把握や短時間学習に活用しやすい教材です。		9
	Keynote	直感操作でスライド作成ができる Apple 製アプリで、テンプレートや図形、写真・動画の挿入が簡単にできます。iPad では Apple Pencil で手書き説明も可能で、視覚的支援教材等を短時間で作成できるツールです。	12 14	10 25 29
	Microsoft whiteboard	手書きや付箋、図形を直感的に使えるデジタルホワイトボードで、複数人が同時編集できます。授業中の意見出しや視覚的な説明に役立ち、思考整理や個別支援の記録づくりにも活用しやすいツールです。		1
	xSync Classroom	電子黒板と端末をつないで教材配信・画面共有・色分け比較が簡単にできる授業支援アプリです。一斉提示やグループ活動で意見整理がしやすく、特別支援の場でも活用しやすいツールです。	7	14
	Microsoft Teams	チャット・会議・資料共有・タスク管理を一元化し、教職員・学習者間の連携を効率化します。行事準備や学年会などで、通話や共同編集を活用して迅速に情報共有できます。	7 10 21	16 34





*AAC: Augmentative and Alternative Communication (拡大・代替コミュニケーション)

アプリ・機器等 コンテンツ紹介




アイコン	アプリ名	概要	指	ア
	Microsoft PowerPoint	場所を選ばずプレゼン資料の作成・編集ができます。Microsoft Teamsで共有することにより、授業で使用する資料に限らず校務における職員会議資料等を共同編集で効率よく作成できます。	4,5,7,10 12,13 16,23	17 18
	BlueLinker	dot sticker と G-Pen Blue (ともに別売り)を使うことで、画像や動画を再生できる教材を簡単に作成できます。		23
	レジスター	特別支援学校での作業学習向けアプリです。子供向けのレジスター体験アプリとしても活用できます。		24
	Scratch	子供が物語・ゲーム・アニメを簡単に作れる学習用ツールです。授業では作品づくりを通してプログラミング的思考を育成し、学級内で共有活動も行えます。		26
	ibisPaintX	豊富なブラシ・素材・フォントを備え、スマホやタブレットでも本格制作が可能です。授業ではイラスト表現や教材づくり、制作過程の振り返りにタイムラプス機能を活用できます。	17	27 37
	Zoom Workplace	チャット、会議、ホワイトボード等を一体化した協働プラットフォームです。校務連絡や打合せ、オンライン会議など教職員間の連携の効率化の他、オンライン授業でも活用することができます。	19	31
	Wa Kingyo LE	日本画風の金魚が泳ぐ映像と水音で、落ち着いた環境づくりに活用できます。学習前の気持ちの切り替えやクールダウンなど、特別支援の場での情緒安定に役立ちます。		1
	I Love Fireworks Lite	画面タッチで花火を自由に打ち上げられるアプリです。作った花火やBGMを記録でき、作品の再生も可能です。感覚遊びや視覚・聴覚刺激を楽しむ教材として活用できます。		1
	Bytello Share	スマートフォンの画面をタッチパネルに簡単に映せるアプリです。学習者のタブレット画面を大型提示して操作の見守りや活動共有ができ、学習の成果発表にも活用できます。	2	
	GRAPES-Light	関係式や不連続関数まで正確にグラフ化でき、動きを使って数学を理解できる高度な学習ツールです。視覚的支援や操作体験を通じて数概念の理解を促す教材として活用できます。	6	
	ChatGPT	画像生成、音声対話、写真の読み取りなど多様な機能を備えています。学習者の理解に合わせた説明づくり、個別学習支援用の教材作成、視覚支援画像の生成など、実践的に活用できます。	9	

アプリ・機器等 コンテンツ紹介

アイコン	アプリ名	概要	指	ア
	DropKit	子供の興味や学習段階に合わせた教材を簡単に作成できます。個別の理解度に応じた課題づくりや、視覚支援カード・作業手順書の作成など、日々の指導に実践的に活用できます。	13	
	Numbers	Apple 製デバイスで使える表計算アプリで、わかりやすいグラフ作成、共同編集が簡単にできます。個別の学習記録や健康観察表などを視覚的に整理し、共有しやすい形で活用できます。	14	
	Google マップ	現在地の確認、目的地までの経路案内、周辺施設検索、ストリートビュー表示などができる地図アプリです。校外学習の下見、危険箇所の事前確認、学習者への視覚的な移動支援などに活用できます。	18	
	PhET (フェット)	理科・数学の概念を直感的に理解できる無料のインタラクティブ実験シミュレーションです。抽象概念を視覚化しながら安全に探究学習ができ、タブレット上で変数操作や実験の体験を行うことができます。	19	
	Microsoft OneNote	手書き入力・画像挿入・ページ整理が直感的に行えるデジタルノートアプリです。クラウド同期により校内外どこでも閲覧でき、教材共有や個別学習記録の整理に有効です。	21	
	Gemini	テキスト・音声・画像を使って質問や調べ物、要約などができる Google の生成 AI アプリです。写真からの説明、文章作成支援、のほか、視覚支援資料の作成補助や、手順説明生成など実践的に活用できます。	25	

アイコン	WEB サイト名	概要	指	ア
	Kahoot! (カフート)	クイズ形式で学習を楽しく進められる参加型アプリで、学習者がタブレットでリアルタイム回答できます。短時間で理解度確認ができ、色や音で注意を引きやすく、復習等にも活用できます。		
	職業情報提供サイト job tag	500 以上の職業の仕事内容・必要技能・向いている特性を分かりやすく示す厚労省の職業情報サイトです。学習者の得意・興味と職業を結びつける資料として活用しやすく、キャリア支援にも役立ちます。		
	Qubena (キュビナ)	AI が学習者の解答傾向を分析し、最適な問題を自動出題する小中向け学習 e ポータル+AI 教材です。習熟度に応じた個別学習や、先生用画面での理解度把握により、学習者のフォローに活用できます。		
	パドレット	画像・音声・動画を直感的に投稿できる協働型デジタル掲示板です。写真による活動記録、個別の思考整理ボード作成などに活用し、意思表出のための支援や学習参加を促します。		

アプリ・機器等 コンテンツ紹介

アイコン	WEB サイト名	概要	指	ア
	Canva (キャンバ)	直感操作で教材・掲示物・動画を素早く作れる無料の教育向けデザインツールです。視覚支援資料や個別課題カードの作成、写真を使った活動記録などを簡単に作成でき、学習の理解や自己表現を助けます。		
	Microsoft Clipchamp	ブラウザで簡単に動画を録画・編集でき、画面録画や自動字幕生成などを備えた教育向けツールです。個別学習の手順動画や生活動作の見本動画を手早く作成でき、視覚的支援の充実に役立ちます。		
	Microsoft Copilot	Microsoft の生成 AI で、要約・案作成・資料作成を自動化できます。個別の指示書作成や保護者向け文案のたたき台づくりにも活用でき、支援に専念する時間を確保できます。		

コラム④ ICT 機器の利活用による教育の質の向上に向けて

～生成 AI とどう付き合うか 特別支援教育の視点から～

日々進化する「生成 AI」。文章を作ったり、絵を描いたり、質問に答えたりする便利な技術です。でも、「なんだか難しそう」「子供に使わせて大丈夫？」と不安に思う方も多いのではないのでしょうか。AI は魔法の技術ではなく、「便利な道具」として活用することで真価を發揮します。AI をうまく使いこなすポイントを5つあげていきたいと思います。

① 「AI は道具」と割り切ること

AI はあくまで補助的な存在です。人間の判断や創造力を置き換えるものではなく、支えるもの。最終的な決定や責任は、必ず人が担うという意識を持ちましょう。また、AI の提案はあくまで「たたき台」。内容を確認、修正し、自分の言葉で仕上げましょう。なお、AI による誤った出力（ハルシネーション）を完全に防ぐことは難しいとされています。



② 「問い方」を工夫する

AI は、聞き方次第で答えの質が大きく変わります。たとえば「通知文を作って」よりも「小学校低学年の保護者向けに、やさしい言葉で短くまとめた通知文の案を作って」と具体的に伝えると、より使いやすい結果が得られます。この問い方の文を「プロンプト」と呼びます。より正確な答えを得るために「プロンプト名人」を目指しましょう。

③ 「情報セキュリティ」のチェック

所属している教育委員会の方針に基づいているか、生成 AI サービスの提供者が定める最新の利用規約を確認・遵守しているか等を確認しましょう。特に生成 AI は種類に応じて、利用可能年齢が異なります。子供に使用させる際には特によく確認しましょう。

④ 「情報モラル」を忘れない

個人情報や著作権に関する配慮は不可欠です。AI に名前や写真を入力しない、他人の作品を無断で使わないなど、基本的なルールを守りましょう。情報モラルについては「情報モラル教育ポータルサイト(文部科学省)」※1や「学校における教育活動と著作権(令和5年度改訂版)(文化庁)」※2などを参考にしてください。

⑤ 教育活動の目的を確認する

発達の段階や、情報活用能力の育成状況を考えて利活用するか決めましょう。安易な AI の利活用は幼児児童生徒の資質・能力の育成を阻む恐れがあります。その教育活動の目的を確認し、本当に必要な場面なのかを考えましょう。

まだまだ留意点はあるかと思いますが、今回は5つのポイントをまとめてみました。近い将来、生成 AI はさらに発展し、より身近なものになっていくと思われます。まずは AI との会話など、簡単などころから活用を試してみましょう。生成 AI がいつかあなたの「便利な道具」として活躍してくれることを願います。

※1 「情報モラル教育ポータルサイト(文部科学省)

<https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/moral/>

※2 「学校における教育活動と著作権(令和5年度改訂版)(文化庁)」

